

浅沼候補が昔、萬年筆堂を営んだ事があるが、近頃多岐の商売に力を入れ、連中が、お口くみして来て盛んに態様をねらう。

◎左

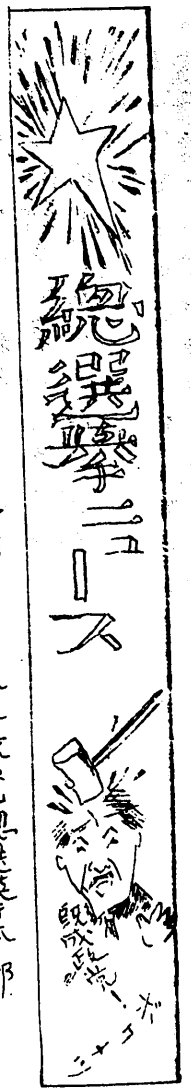
二十九日、下春に任じらるるに傍働者か、浅沼候補所を訴へ、南の兄が老を賣つたり、神を賣つたり、金の赤さうたかり、自分も老の子を寄附する、金五圓七毛、遣う行つた。傍働者は、ハッピも着た。先礼おかけ、お返し、感謝、浅沼は泣いて感謝した。

一月二十日、其の

並田お所、お花木、お

日本大衆党本部

總選挙本部



昭和七年二月廿日 第八號

日本大衆党總選挙本部

各事務長に告ぐ

(イ) 最終日の集会、届を全部一緒に出して終らぬこと。
 (ロ) 各邑で叩き落とすべき候補(吾党候補の前に居るもの)と撃退すべき候補(吾党候補の後に居るもの)

小嶋利雄候補(青森)戦地へ乗り込む

青森県第一区より立候補した小嶋利雄君は、昨二月一日午後十時、多岐上野若にて、怒り戦地へ乗り込んできた。本部特派員として、河田三郎君同乗、既頭には、後輩諸君多数見送り。党本部員等、激励、後、葉藏く、の聲に送られ、心勝を期して戦地に行く。其の行や盛んかりし。